

障害者の就労を支援

トミーワークステーション

徳丸にある「トミーワークステーション」では、一般企業での就労が困難であった人のための就労支援を行っています。現在は、20名の利用者が3つの作業班に分かれて活動しています。サービス管理責任者の出井さんにお話を伺いました。

「障害者は作業を通じて『障害を持っていてもできる』と、やりがいを感じることができます。そこから、生活の中での『できること』を広げ、生活の質を向上させることを目標としています。屋外班の除草作業などの活動は、ぜひ地元でさせてもらいたいと思っているのですが、受け入れ先がないのが今の課題です。なかには、障害者のことが分からない、どう接していいの分からないという気持ちから抵抗を持たれてしまう人もいらっしゃるのかもしれませんが、だからこそ、仕事に入らせてもらって、地域に暮らす障害者のことを分かってもらいたいですね。言葉で上手く話せないため、大きな声が出ることもあります。驚かれるかもしれませんが、職員も障害者本人も、地域に出て皆さんと一緒に暮らしていけるようになりたいと思っています。障害者の特性を少しでも分かってもらうことは、うちの事業所だけの目的ではなく、社会全体の目標だと思います」

この他、事業所には、地域で生活する能力を向上させる「トミー自立訓練所」、多くの体験を通じて積極的な社会参加を目的とする「トミーケア」も併設しています。また、トミーワークステーション内では、利用者が作った雑貨やエコ商品も販売しています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



トミーワークステーション・ トミー自立訓練所・トミーケア

サービス提供時間／9:30～15:30（土、日曜日は除く）

職員／管理者、サービス管理責任者、生活支援員、
職業指導員、看護師

住所／松前町大字徳丸字天王 1338 番地

TEL／984-7556

自分には関係ないと思っ
ていませんか？

バリアフリーを超えて

「心」のユニバーサルデザイン

最近では、障害とは「社会と障害者との関係性の中にできているもの」と考えられています。それなら、社会を変えて障害（バリアー）になっ
ていないものを取り除こう（フリー）。これが「バリアフリー」です。

そして、さらに発展させたのが「ユニバーサルデザイン」という考え方です。例えば、車椅子を使用している人が階段を利用できないから、後付けで階段に車椅子用のリフトを付ける。すると、耐久性や安全性のほかにコストも考えなくてはなりません。あるいは、車椅子を使用している人はそのリフトを使えばいいかもしれませんが、車椅子を使用しない程度に足が不自由な人、そして妊婦さんなどすべての人への配慮ができていますか。それよりも、施設を整備する当初から、エレベーターを配備する方が、すべての人に配慮できていると考えられます。

障害者用の駐車スペースも、最近では妊婦さんなどの移動が不自由な人も利用できるようになっていきます。駐車スペースの設置は事業者側の配慮ですが、そこを必要な人のために空けておくのは私たちの配慮です。

通路に物を置くと通路が狭くなり、車椅子でそこを通るには、その分だけ不便になります。視覚障害者や妊婦さんにも不便になるでしょう。それだけではなく、私たちが買い物をして両手に荷物を持っている時も、同じように不便と感じるでしょう。ユニバーサルデザインが必要なのは施設の整備や物作りだけではなくありません。いろいろな場面で、一人ひとりが他人を思いやる心遣いをする
ことで、障害者だけでなく、私たち自身も過
ごしやすいま
ちになります。
あなたの心遣いは、誰かの安心につながっています。誰もが、このまちで幸
せに暮らせるよう
に、心のユニ
バーサルデザ
インを広げてい
きましょう。